

別紙 - 3 ⑱

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																						
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	地すべり防止工事 (その2)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断は別紙-7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																						
		●評価対象項目 【共通】 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後には型枠及び支保工の取り外しを行っている。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____																												
		【地すべり防止工事（抑止アンカー工事（グラウンドアンカー、ロックボルト））】 <input type="checkbox"/> アンカー施工長さが全本数確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカー施工角度が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 削孔内のスライム処理が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 注入材の充填が適切であり、引張り試験値からも確認できる。 <input type="checkbox"/> 頭部処理（定着金具、キャップへの防錆グリスの充填、防水処理等）が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書や本工法に関する設計、施工指針に基づき、定められた施工手順により行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカー材や注入原材料の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 受圧板が適正に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％） 計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。 </div> <p> <input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 ※別紙-7を参照 上記該当あれば……………c </p>																							
		【地すべり防止工事（暗渠排水工事）】 <input type="checkbox"/> 基礎部が凸凹蛇行のないように施工されている。 <input type="checkbox"/> 地盤面に不陸が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 暗渠管の接続が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 栗石が均一に詰め込まれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋め戻しは締め固め地山のすり付けに配慮し施工されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____																												
		【地すべり防止工事（集水ボーリング）】 <input type="checkbox"/> ボーリングの掘削位置、配列、方向、仰角、深度等は設計図書に基づき適正に施工された。 <input type="checkbox"/> ボーリング孔からの排水処理は適切に行われており、再浸透が防止されている。 <input type="checkbox"/> 掘削機械に応じた適切な足場が設置されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボーリングの孔口は施工に先立ち法面を整備し土砂崩壊が起きないように施工された。 <input type="checkbox"/> 保孔管のストレーナー加工は設計図書に基づき適正に施工されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 検尺の記録がある。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____					●判断基準			ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える		ばらつきで判断不可能																		
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。					<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>			評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上 75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	90%以上	a	a'	b	b																									
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'																									
	60%以上 75%未満	b	b'	c	c																									
	60%未満	b'	c	c	c																									

別紙 - 3 ⑱

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品質	落石防止工事 (落石防止ネット、 落石防止柵)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-7 参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																															
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 材料の規格がミルシート等で確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトや連結金具の締付が適切に施行されている。 <input type="checkbox"/> アンカーや網の重ね合わせが設計書どおり施行されている。 <input type="checkbox"/> ワイヤーが適切に緊張されている。 <input type="checkbox"/> 端部の処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____																																					
						① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％） 計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。																																	
						<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">●判断基準</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上 75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価 値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上 75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
						※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																	

別紙－3 ⑱

〔記入方法〕 1. 該当する項目の口に「レ」マークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	シールド工事 ・ 推進工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ ※ ばらつき判断は別紙－7参照。				[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 日々計測・管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> セグメントや推進管が損傷しないよう配慮されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 接合部が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて強度確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 裏込め材等の注入が適切に施工されていることが、記録から確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____						① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。																															
						<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">●判断基準</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。	
●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
管路工事		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ ※ ばらつき判断は別紙－7参照。				[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 管材料は日本水道協会検査証明等、品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 接合作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 接合面が適切な処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 接合器材の管理・取扱が適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 接合結果が記録され、確認できる。 <input type="checkbox"/> 管布設状況の記録がなされ、整理されている。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 施工条件に適した方法で作業が行われている。 <input type="checkbox"/> 管の下端、側部の締固めが均等に実施されている。 <input type="checkbox"/> 付属構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____						① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。																															
						<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">●判断基準</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。	
●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		

別紙－3 ⑳

〔記入方法〕 1. 該当する項目の口に「レ」マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e			
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	港湾築造工事 (浚渫、海岸築造工事を含む。)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。			
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 浚渫工の施工上の注意事項（仕様書等による）が守られている。 <input type="checkbox"/> 床掘工の施工上の注意事項（仕様書等による）が守られている。 <input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないように置換材を投入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> サンド・砕石ドレーンが連続した様な形状に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> サンドコンパクションパイルが連続した様な形状に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ロッドコンパクションの打込記録から、様な品質の施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 深層混合処理の打込記録から、仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> マットが破損なく施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込めが既設構造物及び防砂目地の破損に注意して施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材の数量照合がミルシート等（現物照合を含む）で確認されている。 <input type="checkbox"/> 杭及び矢板に損傷及び補修痕がない。 <input type="checkbox"/> 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> 控工の施工上の注意事項（仕様書等による）が守られている。 <input type="checkbox"/> ケーソン進水、仮置、曳航及び回航の施工上の注意事項（仕様書等による）が守られている。 <input type="checkbox"/> ケーソン据付及び中詰の施工上の注意事項（仕様書等による）が守られている。 <input type="checkbox"/> 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて強度確認を行っている。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロックの転地、仮置に際し、強度確認を行っている。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロックの仮置は、転倒、崩壊等の恐れがない。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック据付の施工上の注意事項（仕様書等による）が守られている。 <input type="checkbox"/> 付属工の施工上の注意事項（仕様書等による）が守られている。 <input type="checkbox"/> 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____									
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。				●判断基準			ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能
					50%以下	80%以下	80%を超える				
		評価値			90%以上	a	a'	b	b		
					75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'		
					60%以上 75%未満	b	b'	c	c		
					60%未満	b'	c	c	c		
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。									

別紙 - 3 ㊟

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	軽量盛土工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は別紙-7参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																										
	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に、又段切りが行われていることなど、施工上の必要な基面措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 材料の積重ね、緊結、締固め等が適切であり、施工に細かい配慮が伺える。 <input type="checkbox"/> 施工中の雨水対策（降雨、流水等）が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 透水シート、暗渠排水等の付帯施設が適切に施工され、地山等との取り合いが良いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 軽量材自立面の壁面保護工等、本工法に係る付帯施設が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____	① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。				●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																															
90%以上	a	a'	b	b																														
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
60%未満	b'	c	c	c																														
さく井工事		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は別紙-7参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																										
	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 工事に先立ち地下水に対する地盤調査等の分析が入念になされている。 <input type="checkbox"/> 掘削記録及び電気検層結果等が適切に管理されている。 <input type="checkbox"/> 揚水試験が仕様書どおり適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 孔内の仕上げが仕様書どおり適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 掘削中の孔壁保護が入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> フィルター材、埋め戻し等が入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> ケーシング等挿入、接合作業等が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____	① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。				●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																															
90%以上	a	a'	b	b																														
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
60%未満	b'	c	c	c																														

別紙 - 3 ㉔

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

(検査員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	グラウンド・コート舗装工事 (野球場・グラウンド・芝舗装・テニスコート等)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙 - 7 参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、C B R 値測定、ブルローリング等を行い、支持地盤（路床）の確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 施工基盤が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切で、保管状態が良い。 <input type="checkbox"/> 混合土、床土の配合試験（土壌試験）が行われており、品質の規格（粒度、含水比、透水性係数、硬度、土壌改良材等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 各層（混合土等）の品質管理方法が明確で、品質確保に創意工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> 植生（芝）の種類、品質、施工後の養生が適切である。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____				① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。			
		●判断基準				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		90%以上				a	a'	b	b
		75%以上 90%未満				a'	b	b'	b'
		60%以上 75%未満				b	b'	c	c
		60%未満				b'	c	c	c
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。							
防球ネット工事 防砂ネット工事		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙 - 7 参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で、正確な施工方法が同える。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 主柱および支柱の配置、根入、根枷位置、建柱角度等が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 主ワイヤーおよび補助ワイヤー等の設置(張具合、取付金具等)が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットの張高、継目（重ね処理等）、張具合等が適切である。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____				① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。			
		●判断基準				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		90%以上				a	a'	b	b
		75%以上 90%未満				a'	b	b'	b'
		60%以上 75%未満				b	b'	c	c
		60%未満				b'	c	c	c
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。							

別紙 - 3 ㊸

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																						
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	木柵工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は別紙-7参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																						
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 有害な割れ傷等がない。 <input type="checkbox"/> 継ぎ手部の処理が適切である。 <input type="checkbox"/> 防腐剤処理や材料の寸法等が証明書等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭と横木の取り付けが適切である。 <input type="checkbox"/> 根入れ部の処理が適切である。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____				●判断基準 ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える		ばらつきで判断不可能																						
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ） = 評価数（ ） / 対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。				<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。	
評価値	90%以上	a	a'	b	b																									
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																									
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																									
	60%未満	b'	c	c	c																									
港湾維持修繕工事 (電気・被覆防食工)		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は別紙-7参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																						
		●評価対象項目 【電気防食工関係】 <input type="checkbox"/> 材料の実施数量は設計数量を満足している。 <input type="checkbox"/> 陽極の種類化学成分が承諾された品質に適合している。 <input type="checkbox"/> 陽極の形状寸法が承諾された形状寸法に適合している。 <input type="checkbox"/> 陽極の質量が承諾された質量に適合している。 <input type="checkbox"/> 陽極板の電流効率等（陽極電位、発生電流）が承諾された値に適合している。 <input type="checkbox"/> 陽極に取付け位置が確認できる。 <input type="checkbox"/> 被覆溶接の形状寸法（のど厚、脚長、溶接長等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 電気防食の効果確認が整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____				●判断基準 ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える		ばらつきで判断不可能																						
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ） = 評価数（ ） / 対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。				<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。	
評価値	90%以上	a	a'	b	b																									
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																									
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																									
	60%未満	b'	c	c	c																									
		【被覆防食工関係】 <input type="checkbox"/> 材料の実施数量は設計数量を満足している。 <input type="checkbox"/> 保護カバーの種類が承諾された品質に適合している。 <input type="checkbox"/> 保護カバーの品質が承諾された品質に適合している。 <input type="checkbox"/> 被覆防食の取付け位置が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____																												

別紙-3㉔

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e			
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	土工事 (汚染土壌処理)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。				[関連基準、土工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。		
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 雨水による土壌汚染が拡大しないように、作業手順及び排水対策等を適切に実施している。 <input type="checkbox"/> 規定された剥ぎ取り深度が確保されており、剥ぎ取り面下を乱さないように施工している。 <input type="checkbox"/> 剥ぎ取り後の確認が適正であることが関係書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 汚染土壌の運搬は適切であり、運搬管理も良好である。 <input type="checkbox"/> 植生工・種子吹付等を適宜、適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 伐採材、根、クレイ、ワッズ等の分別解体等及び再資源化等が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____						① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％ ）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。			
						●判断基準		ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	
						評価値		90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満		a a' b b' a' b b' c c b' c c c	
								※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。			
鋼橋補修工事 (炭素繊維シート工法)		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。				[関連基準、土工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。		
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で、正確な施工方法が伺える。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ひび割れ補修（注入等）が適正におこなわれている事が確認できる。 <input type="checkbox"/> 下地処理が適正に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工法の手順通り、各段階の施工が適正に行われている。 <input type="checkbox"/> 施工の各段階において、監督員の立会いが実施されている。 <input type="checkbox"/> 接着剤等の空缶管理が、写真で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____						① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％ ）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。			
						●判断基準		ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	
						評価値		90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満		a a' b b' a' b b' c c b' c c c	
								※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。			

別紙 - 3 ㊤

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

(検査員)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e			
3. 出来形及び出来ばえ	橋梁下部工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。			
II. 品質		●評価対象項目 【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒・場所打・深礎等)】 <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。				
		【躯体(鉄筋コンクリート)】 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____					<input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 ※別紙-7を参照 上記該当あれば…………… c				
							●判断基準				
							ばらつきで判断可能				
							ばらつきで判断不可能				
							90%以上	a	a'	b	b
							75%以上 90%未満	a'	b	b'	b'
							60%以上 75%未満	b	b'	c	c
							60%未満	b'	c	c	c
							※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。				

別紙 - 3 ㉔

(記入方法) 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	消波ブロック等製作・据付工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は別紙-7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
	II. 品質	●評価対象項目 【製作】 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量アルカリ骨材対策等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む。） <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロックの転置、仮置に際し、強度確認を行っている。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロックの仮置は、転倒、崩壊の恐れがない。 <input type="checkbox"/> 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて強度試験を行っている。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____ -					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。																													
		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
	仮橋橋工事	a	a'	b	b'	c	d	e																												
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は別紙-7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 仕様書に定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 杭の根入が適切である。 <input type="checkbox"/> 部材の接合が適切である。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 品質管理及び記録の整理に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 足場設備の設置は、関係法令及び設計図書に基づき施工されている。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____ -					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。																													
		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

別紙-3 ㉓

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	浚渫・河道掘削工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。		
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 浚渫、掘削工の施工上の注意事項（仕様書等による）が守られている。 <input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないように工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水質汚染対策を配慮した施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 雨水による土壌汚染が拡大しないように、作業手順及び排水対策等を適切に実施している。 <input type="checkbox"/> 規定された掘削深度が確保されており、掘削面下を乱さないように施工している。 <input type="checkbox"/> 土壌の運搬が適切であり、運搬管理も良好である。 <input type="checkbox"/> 伐木、除根等の適正な運搬、積卸、処分を行っている。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な損傷部が無い。 <input type="checkbox"/> 廃棄物、投棄物等の処理を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 付属工の施工上の注意事項（仕様書等による）が守られている。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。			
		●判断基準					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		90%以上					a	a'	b	b
		75%以上90%未満					a'	b	b'	b'
		60%以上75%未満					b	b'	c	c
		60%未満					b'	c	c	c
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。								
水管橋工事		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。		
		●評価対象項目 【工場製作関係】 <input type="checkbox"/> 鋼材の員数照合がミルシート等（現物照合を含む）で確認されている。 <input type="checkbox"/> 管材料は日本水道協会検査証明等、品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。（重ね塗りの場合も含む。） <input type="checkbox"/> 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書等による品質管理が適正に行われている。 【架設関係】 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水勾配がついている。 <input type="checkbox"/> 付属構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。			
		●判断基準					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		90%以上					a	a'	b	b
		75%以上90%未満					a'	b	b'	b'
		60%以上75%未満					b	b'	c	c
		60%未満					b'	c	c	c
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。								

別紙－3 ㊸

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e			
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	競技場改修工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。			
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 仕様書に定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 部品や二次製品の品質及び形状が設計図書と整合しており、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土の締め固めや埋め戻しを適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 植生工で植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切である。 <input type="checkbox"/> 塗装施工上の注意事項が守られている。 <input type="checkbox"/> 溶接施工上の注意事項が守られている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 品質管理に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。				
		●判断基準					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
		評価値					90％以上	a	a'	b	b
							75％以上90％未満	a'	b	b'	b'
							60％以上75％未満	b	b'	c	c
							60％未満	b'	c	c	c
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。									
擁壁工事等 (井桁ブロック)		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。			
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量アルカリ骨材対策等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む。） <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採用し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 基礎部コンクリートと同様な養生条件におかれた供試体を用いて強度試験を行っている。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 井桁ブロック部材の運搬、仮置きにあたり十分な注意を払っていることが確認できる <input type="checkbox"/> 井桁ブロック部材の据付にあたり、ブロックの配列、連結が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 井桁ブロックの部材に損傷が認められない。 <input type="checkbox"/> 裏込材や中詰石等が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにあたり締め固めが適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 端部や曲線部の処理が適切である。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____ <input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 ※ 別紙－7を参照 上記該当あれば……c					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。				
		●判断基準					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
		評価値					90％以上	a	a'	b	b
							75％以上90％未満	a'	b	b'	b'
							60％以上75％未満	b	b'	c	c
							60％未満	b'	c	c	c
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。									

別紙－3 ㊹

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	擁壁工事等(鋼製枠)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 鋼材の品質がミルシート等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎処理が設計図書に基づき所定の深さ及び形状で施工された。 <input type="checkbox"/> 鋼材の組み立て方法が施工計画書に記述され、吊り込み、据付、組み立て手順が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各部材のボルトの締め付け確認を行った記録がある。 <input type="checkbox"/> 中詰石がかみ合せも良く、枠の角から丁寧に空隙のないよう適切に詰め込まれている。 <input type="checkbox"/> 中詰石の上面は蓋スクリーンとの間に空隙ができないように詰め込まれている。 <input type="checkbox"/> 埋め戻しは、鋼製枠に締め固め機械等が直接乗らないようにし、設計図書に基づき適切に締め固めがされた。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____							① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。																													
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">●判断基準</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>75%以上90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%以上75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </thead> </table>							●判断基準			ばらつきで判断不可能	ばらつきで判断可能			評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。	
		●判断基準			ばらつきで判断不可能																																	
		ばらつきで判断可能																																				
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
魚礁ブロック製作・運搬・沈設工事		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 魚礁ブロックの転置、仮置に際し、強度試験を行っている。 <input type="checkbox"/> 魚礁ブロックの仮置は、転倒、崩壊等の恐れがない。 <input type="checkbox"/> 魚礁ブロックの沈設にあたり、施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____							① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。																													
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">●判断基準</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>75%以上90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%以上75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </thead> </table>							●判断基準			ばらつきで判断不可能	ばらつきで判断可能			評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。	
		●判断基準			ばらつきで判断不可能																																	
		ばらつきで判断可能																																				
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

別紙－3 ㊸

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	暗渠排水工事 (木枠栗石詰)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 木枠栗石詰の施工手順が地すべりを助長しないよう適切であった。 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく規格、寸法、仕上げに適合する木材を使用している。 <input type="checkbox"/> 木杭の打ち込みにあたり、杭間隔が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 木杭の打ち込みにあたり、杭頭部の保護が適切にされ割れ等の有害な損傷が認められない。 <input type="checkbox"/> 木枠部材の配置が設計図書に基づいて適切に組み立てられている。 <input type="checkbox"/> 木枠部材の結束、連結処置が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 暗渠管の据付基盤に凹凸蛇行がないよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 暗渠管の接続が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石材が均一に詰め込まれていることが確認できる。●判断基準 <input type="checkbox"/> 栗石の天端処理が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸出し防止材が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋め戻しは、締固めや地山のすり付けに配慮して施工されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____																																				
① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">●判断基準</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>									●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																						
傾斜堤工事 (異形ブロック)		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量アルカリ骨材対策等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 異形ブロックの製作にあたって型枠工、コンクリート打設、養生が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 異形ブロックの転置、仮置に際し、強度確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 異形ブロックの運搬、転置、仮置きに際し転倒、崩壊等の恐れがない。 <input type="checkbox"/> 異形ブロックの製作、運搬、仮置き、据付にあたり気象条件、海象条件に応じた施工方法を行っている。 <input type="checkbox"/> 裏込め材が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 異形ブロックの据付けにあたって、ブロックの配列、連結、かみあわせが適切であり安定性が確認できる。 <input type="checkbox"/> 異形ブロックの据付けにあたって、基礎面とブロック間及びブロック相互間にかみ合せ石等が挿入されていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____																																				
① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝評価数（ ）／対象評価項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">●判断基準</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>									●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																						